

## **Patent Abstracts of Japan**

**PUBLICATION NUMBER** 

01303018

**PUBLICATION DATE** 

06-12-89

**APPLICATION DATE** APPLICATION NUMBER 30-05-88 63131878

APPLICANT: MATSUSHITA REFRIG CO LTD;

INVENTOR: TANAKA TAKASHI;

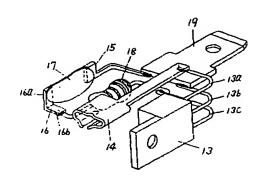
INT.CL.

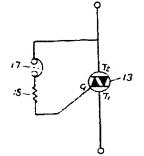
: H02H 7/085 H01H 37/04

TITLE

OVERLOAD PROTECTOR FOR

**MOTOR** 





ABSTRACT: PURPOSE: To feed/interrupt current in contactless and to improve the reliability, by arranging a switching element each as a thyristor in an electrical circuit between a pin receive terminal to be connected with the pin terminal of a motor and a terminal to be connected with an external element.

> CONSTITUTION: Operational current normally flows through a compressor and an overcurrent protector is in closed state. When a motor is locked or overloaded, current flowing through the overload protector and the temperature on the shell of the compressor are detected and the circuit at the gate terminal of a switching element 13 such as a thyristor is opened through a thermostat 17. Terminals T<sub>1</sub>, T<sub>2</sub> of the switching element 13 are opened immediately thereafter so as to release the terminal 19 from a pin receive terminal 14 thus opening the circuit. By each arrangement, a highly reliable overload protector which is not abraded with arc can be obtained.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑪特許出願公開

## ◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-303018

⑤Int. Cl. ⁴

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成1年(1989)12月6日

H 02 H 7/085 H 01 H 37/04 A -6846-5 G A -7926-5 G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

**ᡚ発明の名称** モータの過負荷保護装置

②特 願 昭63-131878

22出 願 昭63(1988)5月30日

@発明者田中

隆 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会

社内

勿出 願 人 松下冷機株式会社

大阪府東大阪市髙井田本通3丁目22番地

個代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

2 ~= 9

明細

1、発明の名称

モークの過負荷保護装置

2、特許請求の範囲

設定された温度にて電気回路を開閉するサーモスクット素子と、モークのピンターミナルに接続されるピン受け端子と、外部と接続される端子とて構成され、前配ピン受け端子と外部と接続される端子間の回路中にスイッチング案子を介在したことを特徴とするモークの過負荷保護装置。

3、発明の詳細な説明

産菜上の利用分野

本発明は、モータの過負荷保護装置に関する。 従来の技術

モータの過負荷保護装置は従来より種々提言されている。特に冷蔵庫等に使用される圧縮機に用いられる過負荷保護装置は、近年、接点舞命の耐久性が求められている。従来の接点式では、接点面のアークエネルギーによる損傷が避けられなかった。

発明が解決しようとする課題

しかしながら上記の従来の構成では、接点の接触により、機铍的に電流を開閉するものであり接点面がアークエネルギーで損傷を受けるので、接点高さの変化、接触抵抗、接点圧の変化、バウンシングが避けられず、最終的には、接点溶剤に至り、機器を損傷させるという欠点を有していた。

本発明は上記問題点を解決するもので電流の開 閉を無接点で行ない、接触抵抗の変化、パウンジングを無くし、接点溶着による故障を無くし、信 類性の高い、モータの過負荷保護装置を提供する ことを目的とする。

課題を解決するための手段

この目的を遠成する為に本発明の過負荷保護装置は、モータのピンターミナルと接続されるピン 受け端子から外部と接続される端子の間の電気回路中に、サイリスタ等のスイッチング素子を介在したものである。

作 用

との構成によって、サイリスタ等のスイッチン

グ繋子が、電流の開閉をするので、接点方式と比べて信頼性、耐久性のよりすぐれた、モークの過 負荷保護を行なうととが出来る。

実 施 例

以下本発明の一実施例について図面を参照しながら説明する。

部を密討する。 以上のように附成されたモータの過負荷保護装 置について以下その動作を説明する。

圧縮機(図示せず)には、通常は運転電流が流

子19に溶接される溶接部分15bとを備えてい

る。16は固定接点で前記ケースの箱体118の

中の外壁側に固着され、接点部分16aと、直角

に折り曲げられ、抵抗器のリード線1 B a に溶接

される部分16bとを備えている。抵抗器18は

一方のリード線1 B a が固定接点の溶接部1 6 b

へ溶接され、他方のリード線18bは、前記サイ

リスク等のスイッチング素子のゲート端子へ密接

されている。17は予め設定した温度でスナップ

1 7 b を開閉するパイメタル又はトリメタルによ

り成形加工されたサーモスタット案子であり、前

記ケースの箱体11aの中に挿入されている、接

点部分17aは固定接点の接点部分15aと電気

的に開閉し、接点部分17 bは固定接点の接点部

分16aと電気的に開閉する。12はカバーで内

アクションにより接点部分1 7 a 又は接点部分

6 n-9

れ、過負荷保護装置は閉状態であるが、モータのロック時や、過負荷時には、過負荷保護装置に流れる電流を検知し、かつ圧縮機の外殻温度を検知して、サーモスタット架子17が、サイリスク等のスイッチング繋子13のゲート端子の回路を開放する、その直後該サイリスタ等のスイッチング繋子13のT1,T2間が開放され、端子19とピン受け端子14間が開放される。すなわち回路を開放する。

以上のように本実施例によれば、メイン電流をサイリスタ等のスイッチング案子で制御することによってバイメタルの接点部はゲート回路で微弱電流の開閉のみとなり従ってアーク等による損耗がない信頼性のより高い過負荷保護装置を提供することが出来る。

発明の効果

以上のように本発明はモータのピンターミナル と接続されるピン受け端子と外部と接続される端 子間の回路中にスイッチング案子を設けることに より、接点部の舞命による性能の変化を起すこと 6 ×-9

のない役れた過負荷保護装置を契現できるもので ある。

## 4、図面の簡単な説明

第1 図は本発明の一実施例における全体縮成図、 第2 図は第1 図のケースとカバーを除いた斜視図、 第3 図は同第1 図の電気回路図である。

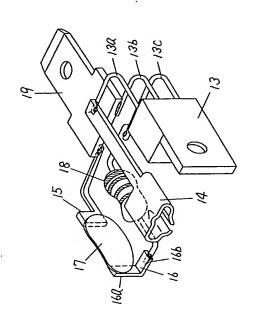
1 1 ……ケース、1 3 ……双方向サイリスター、 1 7 ……サーモスタット繋子、1 8 ……抵抗器、 1 4 ……ピン向けターミナル、1 9 ……クーミナ

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

13 -- XX方向ナイリスタ 14 -- ピンダル塩子 15.16 -- 固定格点 17 -- サーモスタット素子 18 --- 杭地器 19 --- 南子

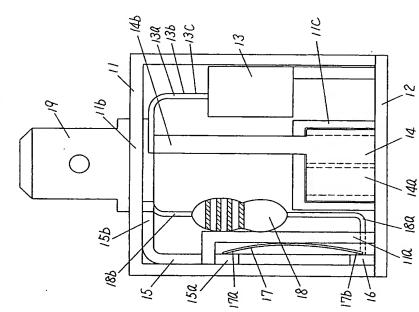
⊠ 2

採



11 --- カース 12 --- カバー 13 --- 双方向サイリスタ 14 --- ピン砂ヶ埼子 15.16 --- 岡東南京 17 --- サーモスタット素子 18 --- 株式製

絃



13 --- 双方向サイリスタ 17 --- サーモスタット妻子 18 --- 抵抗器

第 3 図

